

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報・IR室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <http://www.gs-yuasa.com/jp>

2016年2月8日

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

**X線天文衛星「ASTRO-H」に  
ジーエス・ユアサ テクノロジー製の高性能リチウムイオン電池が採用**

2016年2月12日に、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(理事長:奥村 直樹、本社:東京都調布市。以下、JAXA)殿が種子島宇宙センターから打ち上げを予定しており、日本電気株式会社(執行役社長:遠藤信博、本社:東京都港区)殿が衛星インテグレーションを担当したX線天文衛星「ASTRO-H」には、GSユアサグループの株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー(社長:関口 昌秀、本社:京都府福知山市。以下、GYT)製の高性能リチウムイオン電池が採用されています。

今回「ASTRO-H」に搭載されるのは、宇宙用リチウムイオン電池「JMG100」(100Ah)です。この電池は、GYTの製品技術をベースにJAXA研究開発部門殿からの委託を受けて開発したもので、JAXAコンポーネントとして登録されています。

JAXAコンポーネント登録とは、JAXA研究開発部門殿が人工衛星に共通に使用される搭載コンポーネントやデバイスを開発し、JAXAデータベースに登録・開示する制度です。これまでに「JMG050」(50Ah)と「JMG100」、「JMG150」(150Ah)が登録されており、さらにラインアップを進めています。

X線天文衛星「ASTRO-H」は、JAXAやNASAをはじめ、国内外の大学・研究機関が開発に参加するX線天文学の旗艦ミッションです。国際協力により開発された4種類の新型観測システムにより、銀河団の中に渦巻く、X線でしか観測できない高温ガスの動きの測定や、これまで観測できなかった、銀河の中心にある塵やガスに深く埋もれた巨大ブラックホールなどの観測を行い、宇宙がどのように進化して、今ある宇宙になったのかの謎に迫ります。

GYT は特殊用途の電池や電源を開発・製造販売しており、海・陸・空(水深 6,500m の深海から、上空 36,000km の宇宙空間まで)の特殊環境フィールドで、高性能かつ高品質な電池をお届けしています。

今後も高性能リチウムイオン電池の開発・製造を通じて宇宙開発事業へ貢献してまいります。

**【X線天文衛星「ASTRO-H」へ搭載される蓄電池の仕様】**

項目	仕様
部品番号	JMG100
公称電圧 (V)	3.7
容量 (Ah)	100
寸法 (mm)	W130 × D50 × H208
質量 (g)	2,800

【写真】

1. X線天文衛星「ASTRO-H」(CG画像、提供:JAXA 殿)



2. JAXA コンポーネントに登録されている宇宙用リチウムイオン電池「JMG050」(左)と「JMG100」(右、ASTRO-H に搭載)



---

[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー 営業部 TEL 03 - 5402 - 5867

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 広報・IR室 TEL 075 - 312 - 1214